



- ・ WCC機関名 (WCC No) : **国立国際医療研究センター(NCGM) 国際感染症センター(DCC) (JPN-94)**
- ・ WCCのTOR: **Prevention, Preparedness and Response to Emerging Infectious Diseases**
「COVID-19の臨床対応、研修、人材育成、研究」

1) 事業の背景と目的

DCCは2017年4月21日にWHOコラボレーションセンターとして認定されました。新興感染症に対して、その発生を予防すること、迅速な対応を開始し発生時の影響を最小限にすること、アウトブレイク対応の支援を関連機関と連携して行うことで、WHOの活動をサポートしています。

2019年12月末から中国・武漢市での感染拡大が報じられ始めた新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) のアウトブレイクに対して、NCGMは日本に4医療機関の内の1つの特定感染症指定医療機関として、①COVID-19の臨床対応、②研修、③人材育成、④研究を、国内外の行政・研究・医療機関等と協力しながら行っています。





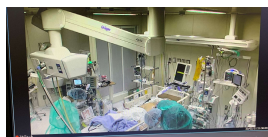
WHO Collaborating Centre
for Prevention, Preparedness and Response
to Emerging Infectious Diseases

2) 事業の概要

①臨床対応

<患者対応>

これまで約1600人の入院患者、多数の外来患者の診療を実施
(軽症から重症患者まで対応)



<ダイヤモンド・プリンセス号対応>

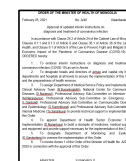
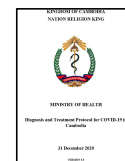


②研修

<WPROと共同でCOVID-19に関するセミナーを実施>



<WPRO加盟国のCOVID-19のナショナルガイドラインをレビュー>



③人材育成

<2019年からWPRO、WHO HQとGOARN研修を実施し、国際感染症対応できる人材を育成し、JAPAN GOARN ロスターを構築(2022年4月4日時点、75名)>



④研究

<COVID-19レジストリJAPANを構築>



2022年4月4日時点
研究参加施設：708施設
レジストリ登録症例数：63,426症例

<https://covid-registry.ncgm.go.jp/>

<COVID-19に関する数多くの論文を投稿>



<https://www.ncgm.go.jp/covid19/academicpaper.html>

3) 今後の予定

今後も国内外の行政・研究・医療機関等と協力しながら、①COVID-19の臨床対応、②研修、③人材育成、④研究を、継続的に行っていきます。